

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

56-046261

(43) Date of publication of application: 27.04.1981

(51)Int.Cl.

G03G 15/04 G03B 27/54

(21)Application number: 54-121812

(71)Applicant: RICOH CO LTD

(22)Date of filing:

21 09 1979

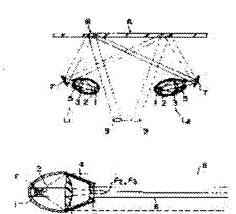
(72)Inventor: IGUCHI TOSHIYUKI

(54) LIGHTING DEVICE

(57)Abstract:

PURPOSE: To attain efficiently condensing lighting to effective slits by arranging a cylindrical concave lens that has a focal point at the common position with a convex lens.

CONSTITUTION: At the position of focal point F1 of cylindrical reflector 1 whose section is in a parabolic shape, halogen lamp 2 as a linear light source is arranged and at the opening end of reflector 1, cylindrical convex lens 3 is also arranged to focus reflected parallel light from reflector 1 on focal point F2 of convex lens 3. At the opening end of reflector 1, tapered card fitted and to its tip, cylindrical concave lens 5 of focal point F3 whose position agrees with that of focal F2 of convex lens 3 is fixed. Through concave lens 5, a luminous flux traveling toward focal point F2 of convex lens 3 is changed into parallel beam 6, which is projected on slide mirror 7 provided in front of it. Parallel light 6 is narrower in width and higher in desnity than parallel luminous flux 8 from reflector 1 showned by a bloken line.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (JP)

①特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A)

昭56-46261

⑤ Int. Cl.³
G 03 G 15/04

G 03 B 27/54

識別記号

庁内整理番号 6920-2H 6805-2H ❸公開 昭和56年(1981) 4 月27日

発明の数 1 審査請求 未請求

(全 4 頁)

69照明装置

願 昭54-121812

②特②出

願 昭54(1979)9月21日

⑫発 明 者 井口敏之

東京都大田区中馬込1丁目3番

6号株式会社リコー内

⑪出 願 人 株式会社リコー

東京都大田区中馬込1丁目3番

6号

個代 理 人 弁理士 猪股清

外3名

6.6.

443 ±420

発明の名称 照明装置

特許請求の範囲

光原からの光束を、光原の前方に配された揺動ミラーを介して被照明位置に照射するとともに、 前記感動ミラーを揺動させて走査を行なうスリット走養照明用の照明装置において、断面放物線形状の円筒状リフレクタと、その焦点位置に配置された緑状光原と、前配リフレクタの前方に配された円筒状の凸レンズと、この凸レンズの前方に配され、前配凸レンズと共通の焦点位置を有する円筒状凹レンズとを具備することを特徴とする照明装置。

発明の詳細な説明

本発明は、光順の前方に配された揺動ミラーを 揺動させることにより走査を行なりスリント走査 照明用の照明装置に係り、修に有効スリント内へ の集光照明を高効率で行なりのに好通な照明装置 に関する。

従来、複写機等におけるスリット走査照明用の 照明装置としては、第1図に示すように固定され た円筒楕円形のリフレクタR、rの焦点位置に綴 状光源L、&をそれぞれ固定し、リフレクタR、 rの前方に揺動ミラーM、mを配置するとともに、 このミラー M , m を矢印方向に揺動させることに より走査を行なりよりにしたもの、あるいは第2 図に示すように固定された回転放物面状のリフレ クタ R₁, r₁ の無点位置に点状光源し、8 をそれぞ れ固定し、リフレクタR_i,r_iの前方に円筒放物面 状のリフレクタReinteをそれぞれ固定するととも に、リフレクタ Re , re の光束反射位置に平面ミラ ー M ,m を配置し、このミラー M ,m を矢印方向 に直顧移動させることにより走査を行なうように したもの、さらには第3図に示すように固定され た球面状のリフレクタRの焦点位置に点状光像L を固定し、光原しからの光束位艦に回転放物面状 のリフレクタR。を固定するとともに、リフレク

(2)

タ R₂ からの光束反射位置に円筒放物面状のリフレクタ R₃ を配置し、このリフレクタ R₃ を 矢印方向に往復動させることにより走査を行なうようにしたものが一般に知られている。

しかしながら、第1図に示すようにミラーを揺動させる方式の照明装備においては、図示する照明角の変化により被照明位置までの光路長が変化するため準光点が原稿スリット面の前方または後方に変化し、照明幅や照度分布が変動する。したがつて、照明角のが大きくなると、原稿台に照射される照射幅が大きくなり、照明光が有効スリット幅より拡散したり、絞り振等により絞り調整を行なう場合には露光量自体も変動してしまう等の離点がある。

また第2図に示すよりにミラーを直線移動させる方式の照明装置においては、被照明位置までの 光路長は変化しないので、集光点をスリット面上 に一致させることはできるが、光路長自体を相当 長くする必要があり、リフレクタR1、「1 自体の 照明効率が低くならざるを得ないとともに、ミラ

(3)

トに配置することができる照明装置を提供するに ある。

本発明は、断面放物緩形状の円筒状リフレクタと、その焦点位能に配置された緩状光線と、前記リフレクタの前方に配された円筒状の凸レンズと、この凸レンズの前方に配され、前記凸レンズと共通の焦点位置を有する円筒状の凹レンズとを備え、凹レンズからの平行光がリフレクタ反射直後の平行光に比べて光束巾が狭く高密度になるようにしたものである。

以下本発明を第4図および第5図に示す一実施 例に基づいて説明する。

第4図および第5図において1は断面放物線形状の円筒状リフレクタであり、その無点F,位置には線状光像としてのハロダンランブ2が設備されているとともに、リフレクタ1の閉口端部には円筒状の凸レンズ3が配置され、リフレクタ1からの反射平行光を凸レンズ3の焦点F,に集束させるようになつている。

リフレクタ1の開口端にはまた先細状のフード

一枚数の増大およびミラー走査機構の複雑化等の 問題点がある。

さらに第3図に示すようにリフレクタを移動させる方式の照明装置においては、前記する両照明 装置の欠点を原理的に回避しているが、リフレク タR。を原稿スリット走査と 同一速度で移動させ る必要があり、高速走査には不向きである。

以上説明したように従来の照明装置においてはいずれの場合も特有の離点があるが、機器の小型化および走査の高速化を目的とする場合には、第1図に示すようにミラーを揺動させて走査を行なり方式のものが最も好ましいと云える。

しかしながらこの方式の照明装置においては、 前述した問題点が存するので、その対策が要請さ れる。

本発明はかかる要請に鑑み創案されたもので、 その目的とするところは、ミラーを揺動させて走 査を行なり方式のものにおいて、照明角が大きく なつても有効スリット内への集光照明を高効率で 行なりことができるとともに、各部品をコンパク

(4)

4 が取付けられ、その先端部には、前配凸レンズ3の無点F*とその位置を同一にする無点F*を有する円筒状凹レンズ5 が固定されている。そして凹レンズ5 は、第5 図に示すように凸レンズ3 の無点F*に向かつて無束してくる光束を平行光6にして、その前方に配された揺動ミラー7 に投光するように構成されている。この平行光6 は、第5 図に破線で示すようにリフレクタ1 による平行光束8 の巾より狭くかつ高密度となつている。

とのように構成された照明系は、第4図に示すように走査両端に向いて2個配置され、各照明系の前方には掲載ミラー7がそれぞれ設置されている。そして、各場動ミラー7は、復写用の結像光学系に設けられた結像レンズ9の移動に伴なう原構面有効スリット位置の走査に同期して掲動し、前配スリット位置を同時照明するように構成されている。

なお、第4図において L_1 , L_2 は正反射機界線を示す。

次に作用について説明する。

(6)

特開昭56- 46261(3)

ハロゲンランブ2から出たら光東は、直接あるいはリフレクタ1で反射して凸レンズ3に入る。 そして、さらに凹レンズ5に入つて平行光6となる。この平行光6は揺動ミラー7を介してスリット位置を同時照明し結像レンズ9側に反射される。

第6図は第1図に示す従来装置における有効スリット巾Wに対する照明光束の状態を示し、また第7図は本実施例に係る照明装置における有効スリット巾Wに対する照明光束の状態を示す。そして両図(a)は、第4図におけるA部、すなわち中央部を照明した状態を表わし、また両図(b)は第4図におけるB部、すなわち周辺部を照明した状態を表わす。

従来装置においては、第6図(a)、(b)からも明らかなように中央部および周辺部照明の際に両方あるいは一方の照明光が有効スリット外を照明するという問題があるが、本実施例装置においては、第7図(a)(b)に示すように照明光の平行光束を細くすることができるので常に有効スリット内の高密度な集光照明が可能となる。

(7)

- (5) 熊明光東の巾が映いので、傷動ミラーの巾も 狭くて済みコンパクト化されるとともに、回転 トルク等も小さくてよく、高速揺動が可能である。
- (6) 反射面が小さいことから、照明光の分光特性 をコントロールするための干渉膜ミラーとする ことも可能である。

以上本発明を好適な実施例に基づいて説明した が、本発明によれば、照明角が大きくなつでも有 効スリット内への乗光照明を高効率で行なうこと ができ、また各部品配置をコンパクトにすること ができる。

図面の簡単な説明

第1図ないし第3図はそれぞれ異なる従来例を示す光路図、第4図は本発明の一実施例を示す光路図、第5図は照明系の断面図、第6図(a)は第1図に示す従来装置による中央部照明時の照明光束の状態を示す説明図、何図(b)は同層辺部照明時の照明光束の状態を示す説明図、第7図(a)は第4図

以上説明したように本実施例によれば以下の如き効果を奏する。

- (1) スリット照明光東が狭くなつているので、中央部および周辺部照明の際にも常に有効スリット内を集光照明することができる。
- (2) 従来はリフレクタを可及的小さくして反射光 (平行光)の巾を狭くするようにしているが、 この場合ランプフイラメントの大きさが相対的 に無視できなくなり、すなわち点光顔として近 似できなくなり良好な反射平行光を得ることが 困難であるが、本実施例ではリフレクタからの 直接の反射光の巾は広くてもよいので、反射面 を大きくとつて良好な反射平行光を得ることが できる。
- (3) 凸レンズと凹レンズとをフードで一体化して いるので、フレアの発生を防止することができ ろ-
- (4) 照明系を正反射限界線の内側に設置しても、 原稿支持ガラスでの正反射光は生じないので、 部品配置をコンパクトにまとめることができる。

(8)

に示す本実施例装権による中央部照明時の照明光 束の状態を示す説明図、同図(b)は周辺部照明時の 照明光束の状態を示す説明図である。

- 1 …リフレクタ、 2 …ハロダンランブ、 3 …凸 レンズ、 5 …凹レンズ、 7 …磁動ミラー。

出顧人代理人 猪 股 青

(10)

